12 年間の学校教育の重要性
「家庭と学校との総合理解」　「家庭が社会の縮図」

家庭も成長した事例
社会の一員として輝いて働く A さん
・幼少のころから行動は、家族みんなと一緒である。
・積極的にいろんな場に出して経験させる。
・家族の役割を知らせお互いに認め合う。
・家庭内のできる仕事を任せる。
・学校教育に信頼を示す。

困難な事例
・家族に働くモデルを示せない。
・家族内で障害の受容について意見がちがう。
・学校教育に批判的で話し合いの場に出てこない。
・相談はするけど活かさない。誰かがしてくれる？
・課題や問題を後回しにしている。
・家庭内で終わらせてしまう。経験の場が少ない。

卒業後の社会での生活

企業
・しごとサポートセンター　　家庭の力（体調、金銭等）を必要としてくる。
・職業センター
・ハローワーク
・学校
・家庭

2・3 年後
⇨

福祉サービス
・区役所
・サービス等利用計画相談事業所　　家庭と事業所の関係が強くなる。
・相談基幹センター
・学校
・家庭